

“地域”に寄り添い“未来”に繋ごう

# なんさい

nansai



## 新年のごあいさつ

### 特集1 JA南彩自己改革

令和7年度上半期の取組み結果について

### 特集2 旬のいちごを楽しもう!!

いちご狩り&Instagramプレゼントキャンペーン開催



JA南彩

検索

URL:<https://www.ja-nansai.or.jp>

 耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

ホームページで  
広報誌「なんさい」が  
見られます。

※スマートフォンのカメラを  
かざすとURLが表示されます。





常勤監事  
今井 清 志



代表監事  
折 原 史 年



常務理事  
松 岡 昌 典  
営農経済担当



常務理事  
本 田 悟  
金融共済担当



常務理事  
三 角 英 夫  
管理担当



## 協同の力で挑む 新たな未来創造の年

代表理事組合長 菊 池 義 雄

謹んで、新春のご祝詞を申し上げます。  
組合員並びに地域の皆さまには、清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素よりJAの事業運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当JAは本年4月に合併30周年という大きな節目を迎えます。この記念すべき年を、「地域」に寄り添い、「未来」に繋ぐを合言葉に、組合員や地域の皆さまから今後必要としていただけるJAをめざし、新たなスタートの年として位置づけております。午（うま）年は「勢いよく前へ進む年」と言われており、これまでの30年の歩みを力強い前進へとつなげる一年としてまいります。

現在、地域農業を取り巻く情勢は依然として厳しく、資源価格の高騰や円安に伴う生産資材の価格上昇、担い手不足や高齢化など、多くの課題がございます。こうした状況下にあっても、地域の農業と暮らしを支えていくことが、私どもJAの重要な使命であると考えております。

そのため私たちはJAグループさいたまが掲げる「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」の実現に向け、不断の自己改革に取り

組んでおります。特に、支店再編後も組合員や地域の皆さまとの距離が離れないよう、「出向く体制」の強化に努めております。営農や暮らしの相談に対し、これまで以上に積極的な足を運ばせていただくことで、身近で頼りになる存在としての役割を果たしてまいりますと存じます。

また、本年は中期3か年計画の2年目を迎える、JAの総合事業性を最大限に発揮しながら、生産性向上と健全な経営基盤の確立を一層推進していく重要な時期でございます。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」という3つの基本目標の実現に向け、役職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

合併30周年を迎える本年、役職員一同、決意を新たに、組合員の皆さまとの対話をより重ね、協同の力を存分に発揮しながら、「地域に根ざした協同組合」として、持続可能な農業と豊かな地域社会の実現に努めてまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健康で幸多き一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

理事

非常勤役員  
の紹介

鈴木 兼一	杉崎 資全	高橋 博	新井 勝一	関根 正太郎	関根 耕一郎	斎藤 昭雄	久保 了二	石川 淳也	常川 見一	山本 寿一	塚本 精一	榎本 孝弘	阿部 正弘	荒井 肇	高橋 博彦	矢部 明彦	関部 豊	渡邊 仁	鈴木 守男	木村 豊	長谷川 之	金子 喜雄	桑原 由枝	野原 幸江	岸原 幸子	大澤 一樹
監事	池田 昌司	岡村 行雄	岸田 一男	嶋村 美行	外職	矢作 俊信																				

外職員一同





## CONTENTS

新年のごあいさつ.....	2	営農情報.....	10・11
表紙の紹介.....	3	TAC通信&TAC活動紹介.....	12
カメラニュース.....	4・5	特集2 旬のいちごを楽しもう!!	
みんなの広場.....	6・7	いちご狩り&Instagramプレゼント	
特集1 J A南彩自己改革		キャンペーン開催 .....	13
令和7年度上半期の取組み結果について...	8・9	お知らせ.....	14・15・16

## 締切迫る! あなたのベストショットお待ちしています!

### 「令和7年度 J A南彩 フォトコンテスト」

J A南彩では、農業や農産物、自然など地域の魅力を再発見するためにフォトコンテストを開催します。ぜひ皆さまの視点で捉えた地域の魅力を写真に収めて、ご応募ください!

優秀作品は、広報誌「なんさい」やホームページ、SNS等に掲載させていただきます!



**テーマ 「農」が見える季節感のある風景** (農地、農村、農作業、農作物など)

農作業の様子、四季折々の田んぼや畑、果樹園などの美しい風景

#### 各 賞

最優秀賞	1点	商品券20,000円
優秀賞	2点	商品券10,000円
特別賞(組合長賞)	1点	商品券 5,000円 + J A南彩 P B 商品

※審査の結果、受賞作品数が賞の点数に満たない場合もあります。

#### 審査・発表

令和8年3月に審査を行い、令和8年度内広報誌「なんさい」やホームページにて発表いたします。

【応募期間】 令和7年8月1日(金)～令和8年1月30日(金)

【応募資格】 J A南彩管内(さいたま市岩槻区、春日部市(旧庄和町地区を除く)、久喜市(旧栗橋町、旧鷲宮町地区を除く)、蓮田市、宮代町、白岡市)に在住の方

#### 応募方法

##### ・プリント画像による応募

下記必要事項を明記した応募用紙を下記住所へ郵送、または各支店窓口にお渡しください。

※1 応募用紙についてはホームページからダウンロードしてください。

##### ・Eメールによる応募

画像データを添付し(※2)、下記必要事項をメール本文に明記し、下記のEメールへお送りください。

※2 メール受信データ容量に制限があるため、合計サイズが10MBを超える場合は、数回に分けてお送りいただけるようお願いします。

#### 必要事項

- |       |               |           |
|-------|---------------|-----------|
| ①郵便番号 | ②住所           | ③氏名(フリガナ) |
| ④電話番号 | ⑤タイトル         | ⑥撮影年月日    |
| ⑦撮影場所 | ⑧作品について一言コメント |           |

#### 【応募・お問い合わせ先】

〒344-0064 春日部市南2-4-30

J A南彩 企画管理部ふれあい広報課 TEL 048-720-8051

Eメール nansaiphoto@nansai.st-ja.or.jp



▲応募専用  
フォーム



▲作品規定や  
応募規定は  
コチラ

## イベントが開催されました!!

秋の収穫を祝うイベントが各地区で開催され、多くの来場者で賑わいました。

生産者が丹精込めて作った野菜や果物、花卉などの販売が行われたほか、さまざまな模擬店も出店し、イベントは大盛況となりました。



11月15日・16日  
さいたま市農業祭



10月18日・19日  
第29回かすかべ商工まつり



10月18日  
関戸コスモスまつり



11月23日  
第50回春日部市農業祭



10月26日  
第36回みやしろ産業祭



11月22日  
第3回しらおか秋の彩りフェスタ



11月3日  
第42回久喜市菖蒲産業祭

## 人形・ぬいぐるみ・鯉のぼり 供養祭を開催!



11月13日、JAアグリホールくきにて、JA全農さいたま主催「人形・ぬいぐるみ・鯉のぼり供養祭」が行われました。今年より鯉のぼり供養も加わり、式場内に雄大な鯉のぼりが掲げられました。今年は平日開催にもかかわらず、前年同様に多くの品々をお預かりさせていただき曹洞宗幸福寺（河原井）住職により供養いただきました。



大切な品々を供養

## 牛とふれあい 学ぶ“いのち”と“食”の大切さ



11月25日、蓮田市立平野小学校で、JA全農さいたま・県酪農教育ファーム推進委員会主催による「わくわくモーモースクール」が行われました。酪農生産者やJA南彩、乳業関係団体など約80人が協力し、全校児童151名が酪農にふれました。

教室では、森乳業が牛乳やバターの製造工程をオンラインで紹介。校庭では、子牛への哺乳見学や搾乳体験を行い、児童は牛の体温や命の温かさを感じながら食の大切さを学びました。搾乳を体験した児童は「力加減が難しかったけれど、牛乳の温かさから“命をいただいている”ことを実感した」と話してくれました。



搾乳体験をする児童





QRコードを読み取ると、Instagramの投稿をご覧ください。

## 農政の動向とJA運営を学ぶ 総代研修会



令和7年度総代研修会

12月5日、蓮田市総合文化会館ハストピアにおいて、総代やJA南彩役員ら239名が参加し、令和7年度総代研修会が開催されました。この研修会は、JA運営への理解と関心を深めることを目的に実施しています。

研修会では、役員より令和7年度の事業概況報告と総代改選について説明と今後の事業運営の方向性を共有しました。

後半の講演では、JAグループさい

たま農産物アンバサダーの三遊亭鬼丸氏が「落語的マーケティングのすすめ」をテーマに、軽妙な語り口で販売や情報発信のヒントを紹介しました。続いて、藤木しんや参議院議員が「農業とJAを取り巻く情勢について」と題し、国内農政の最新動向や今後の展望を解説しました。会場は笑いに包まれながらも、情勢理解と実務に役立つ学びが得られる有意義な講演となりました。



会場を沸かせる  
三遊亭鬼丸氏



力強いメッセージを伝える  
参議院議員 藤木しんや氏

JA南彩は、各地区を拠点に組合員、地域住民とのふれあい活動を通じて、地域農業と生活の向上に取り組んでいます。



11月11日、久喜市菖蒲町の菖蒲幼稚園の園児44名が「脱穀・粳摺り体験」を行いました。



11月18日、宮代町の本田保育園の園児16名が「サツマイモ掘り体験」を行いました。



11月18日、久喜市立栢間小学校の児童10名が「サツマイモと大根の収穫体験」を行いました。



11月17日 白岡支部 千葉県日帰り旅行

**女性部**

11月25日 女性部親睦旅行 社家の光協会視察



12月2日 岩槻城北地区 料理教室



12月3日 春日部支部 クリスマスリース作り



**部員募集中!! お問い合わせはお近くの支店まで**



# 彩農あい!



## みんなの広場

なかざと 中里 はく 羽空さん あおい 葵さん(久喜市菖蒲町新堀)

JA南彩 アグリスト(青年部)

ご夫婦で梨とシャインマスカットを栽培している中里さん。令和6年12月に就農し、現在は約2反の畑で栽培に取り組んでいます。高校時代に受けた授業や先生の勧めがきっかけとなり、「地域の梨農家の減少を食い止めたい」という思いが芽生えました。高校卒業後は、さいたま市にある農家で修業を重ね、22歳という若さで就農を決意しました。

栽培へのこだわりは、果実数を絞ることで甘くて大きな梨を育てること。また「樹の声を聞く」ことを大切にしており、葉の枚数や日当たりなど、木の細かな状態を観察しながら必要なケアや手入れを丁寧に行うことが、おいしい果実づくりにつながっています。

地域の方々とのつながりや、お客さまから「おいしかったよ」といった嬉しい言葉が、中里さんご夫婦の励みになっているそうです。一方で、害虫・害獣への対策や近年増える高温障害には苦労も多く、日々試行錯誤を重ねています。

今後については、観光農園やキッチンカーの運営、古着屋・アンティークショップの開業など、農園を中心に新たな挑戦を広げていきたいと話していました。さらに、「地域に愛される農園にしたい。菖蒲町の農業を盛り上げたい」と笑顔で話してくれました。

(金子通信員)



## 掘って作って味わう! 家族でじゃがいも収穫体験

12月13日、むさしの村にて4家族13人が参加し、じゃがいも収穫体験を開催しました。収穫から調理、食べるまでを実際に経験し、食と農の大切さを実感する一日となりました。

### 収穫体験

農園にて、9月に自分たちで定植したじゃがいもを丁寧に収穫しました。土の中から次々に出てくるじゃがいもに、「すごく大きい!」と歓声を上げていました。



### 調理

収穫後は、ポテトチップス作りを行いました。塩、コンソメ、のり塩の中から好みの味付けで、掘りたてのじゃがいもを味わいました。「自分たちで収穫したじゃがいもが美味しい」との声が上がり、おかわりをするご家族の姿も見られました。



### じゃがいも王決定戦

イベントの締めくくりとして「じゃがいも王決定戦」を実施しました。参加者の中で最も大きなじゃがいもを収穫した方には、JA南彩地域の農産物詰め合わせが贈られ、大いに盛り上がりしました。



なお、本イベントは、JA共済連埼玉本部の地域・農業活性化積立金を活用しています。



QRコードを読み取ると、Instagramの投稿をご覧ください。

なんさい 6

掲載を予定していた川柳作品は、誌面の都合により今回は掲載を見送らせていただくこととなりました。



# おいしく動いて 脳農イキイキ!!

## 家族で楽しむおいしい一皿

レシピ提供●料理研究家 和田麻紀子

ハクサイの季節がやって来た! 鍋で栄養を逃さずいただきます

### ピエンロー

(ハクサイと豚肉、鶏肉、春雨の中国風鍋)

#### アレンジ

- 食卓でかんきつを絞ったり、塩や辛味を入れる
- ご飯を入れて雑炊に



とろとろハクサイと肉のうま味が食欲そそる

#### 材料 (4人分)

ハクサイ	1/2玉	干しいたけ	25g
豚ばら薄切り肉	300g	ごま油	大さじ2
鶏もも肉	1枚	塩	大さじ1
春雨	50g		

#### ポイント

薄味で仕上げ、食卓で各自味を調えて楽しめます。ハクサイは加熱で栄養が流れ出てしまいますが、鍋料理にしてスープも味わうことで栄養を逃さずいただけます。

#### 作り方

- ① 干しいたけは軽く洗い、浸るくらいの水に入れ、ラップをして電子レンジ (600W) で2分半加熱する。石突きを切り落とし、食べやすい大きさに切る。戻した水は取って置く。ハクサイは5cm幅のざく切りにしておく。
- ② 土鍋に①と干しいたけの戻し汁、水1.2L (材料外) を入れて火にかける。沸騰してきたら、食べやすい大きさにカットした豚ばら、鶏もも肉をほぐしながら入れる。ごま油を入れ、ふたをして30分煮る。
- ③ 別鍋で沸かした湯で戻した春雨と塩を鍋に入れ、一煮立ちさせる。味見して少し薄いくらいの塩味で仕上げる。

### 缶遊び体操

(3) 机の上に2本の缶を置き、両手を外側にひねって缶をつかみます。



(1) 机の上に2本の缶を置き、両手を内側にひねって缶をつかみます。



(4) つかんだ缶をひっくり返します。(3) (4)を10回繰り返し返します。



(2) つかんだ缶をひっくり返します。(1) (2)を10回繰り返し返します。



### 缶遊び体操で手首を鍛える

お茶やジュースなどが入った缶を使って手首を鍛えてみましょう。作業前などに適度に手首を動かしておくことで、けがの予防

につながります。体操に慣れてきた方は500mlのペットボトルなどでも挑戦してみてください。

### 脳トレ 手足の体操

健康生活研究所長 堤 喜久雄

※初めは無理をせず、ゆっくりとできる範囲で続けましょう。

# 年度上半期の取組み結果について

## ●組合員との関係強化・仲間づくり（組織基盤強化・地域活性化戦略）

No	重点施策	主要な取組み	目標達成による効果	目標値	
				令和7年度	令和7年度上半期実績
1	認知症対策支援	認知症サポーター養成講座開催 健康教室開催 介護、認知症予防対策活動	認知症予防	「認知症サポーター」 2団体 「健康体操等予防対策活動」 各支部にて実施	健康体操・認知症予防 下期に合同開催予定
2	デジタル技術向上支援	スマホ教室開催	デジタル技術向上による 生活の質向上	2団体	2団体開催予定
3	地域住民の資金ニーズへの対応① (農業資金の強化)	営農経済部門との連携、 貸出強化プランの実践	農業者の所得増、信用事業 収益確保	新規実行額 178百万円	農業融資実行額 30件 97百万円
4	地域住民の資金ニーズへの対応② (住宅ローンの強化)	提携業者との連携強化、 貸出強化プランの実践	組合員・利用者の満足度の 向上、信用事業収益確保	新規実行額 3,000百万円	住宅ローン実行額 77件 2,840百万円
5	組合員・利用者に寄り添う活動の実践① ([「年金友の会」各種イベント開催])	年金受給者の集い、歌謡 ショー、旅行、グラウンド ゴルフ大会など	利用満足度向上、イベン トを通じて利用者と職員 とのふれあい	①日帰り旅行100名 ②グラウンドゴルフ300名 ③歌謡ショー500名 ④泊旅行120名	①144名 ②252名 ③令和8年1月実施予定 ④令和8年2月実施予定
6	組合員・利用者に寄り添う活動の実践② (3Q活動の実施)	3Q訪問・3Qコール活動 を通じて、契約者の近況 確認を実施する	共済を身近なものとして 考えていただき、アップ セル・クロスセルにつな がる	実施率 80%以上	実施数13,006件 実施率40.0%
7	アクティブメンバーシップの確立① (組合員との対話の実施)	対話集会 (組合員組織等)	J A 事業に対する理解、 組合員のエンゲージメン トの向上	7回	7回 (11月実施)
8	アクティブメンバーシップの確立② (農業体験イベントの開催)	農業体験	農業への理解と関心を深 め、准組合員への加入促 進	10組	4組 (14名)
9	アクティブメンバーシップの確立③ (地区ふれあい活動の実施)	ふれあい活動	J A 事業への理解と地域 の活性化	7回	17回 (5地区)

## ●健全・強固な経営基盤の確立（経営基盤強化戦略）

No	重点施策	主要な取組み	目標達成による効果	目標値	
				令和7年度	令和7年度上半期実績
1	旧店舗等遊休資産整備	旧店舗等遊休資産の計画的な処分等	資金調達と修繕費・固定 資産税等管理費等の負担 減	久喜地区太田支店 職員駐車場 等	久喜地区太田支店 職員駐車場売却処分
2	自己改革実践プロジェクトチーム創設	職員が課題を整理・解決 するプロジェクトを実践し 自律型職員の育成	経営戦略を策定・実行で きる職員を育成し、組合 がその意見をもとに意思 決定していく	年4回のミーティングを 開催	第1回 9月8日に開催 名称「Nプロ」に決定
3	年金振込契約件数の増強	渉外担当者による年金推 進、年金FSTの実施	年金振込契約件数の増加 による、個人貯金増、安 定的な収益確保	年金新規請求と 指定替獲得 550件	新規請求と指定替獲得 9月末獲得累計329件
4	資産形成・資産運用のニーズへの対応	LPCの専門知識研修	組合員・利用者の満足度の 向上	残高目標2,000百万	投資信託残高 1,668百万円
5	相談会・セミナーの開催 (資産形成・NISA相談会)	相続等の専門家を活用した 休日相談会の開催、生産 部会等に向けた資産形成 セミナーの開催	組合員・利用者の満足度の 向上	各管内 年1回開催	上期末実施

## ●理解醸成に向けた情報発信（広報戦略）

No	重点施策	主要な取組み	目標達成による効果	目標値	
				令和7年度	令和7年度上半期実績
1	デジタルコミュニケーションの強化	S N S の活用	認知度の向上、組合員・ 利用者の満足度向上	450人	581人
2	メディア活用の強化	取材・プレスリリースの 強化	広報誌「なんさい」と、 メディアの積極的活用	5回	3回



JA南彩では、組合員の皆さまとともに地域農業の未来をつくるため、「中期3か年計画」に基づいた取り組みを進めています。令和7年度からは、10年先を見据えた新たな計画がスタートし、「食料・農業戦略」「組織基盤強化・地域活性化戦略」「経営基盤強化戦略」「広報戦略」の4つの戦略を中心に、地域の力を生かしたさまざまな活動を展開しています。

今号では、これら4つの戦略にもとづく「令和7年度上半期アクションプラン」の進捗状況がまとまりましたので、ご報告します。

## JA南彩中期3か年計画にかかるアクションプラン

経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域農業戦略の見直し・実践により農業所得の向上につとめます。</li> <li>○組合員・地域住民のくらしを守るため、総合力を発揮して各種事業活動を通じて総合的な支援を行います。</li> <li>○総合事業性を発揮するため、JA経営健全性の確立につとめます。</li> </ul>
経営ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全で安心な国産農産物を安定的に供給できる持続可能な地域農業を確立し農業者の所得増大をめざします。</li> <li>○総合事業を通じて、組合員のくらしの向上につとめ、組合員や地域社会から必要とされるJAをめざします。</li> <li>○組合員や地域社会と共に「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、経営の健全性を確保し、協同組合としての役割を発揮し続けることをめざします。</li> </ul>

## ●食料・農業への貢献（食料・農業戦略）

No	重点施策	主要な取組み	目標達成による効果	令和7年度の目標	令和7年度上半期実績
1	農業用ドローン防除の実施	農業用ドローンによる労働支援および生産拡大	生産者の作業省力化および収量増加・品質向上による所得向上	600ha	1,300a
2	担い手資金支援	JA南彩独自の助成事業（JA南彩農業振興支援事業）	新規就農者および地域農業を支える担い手の農業生産の維持・発展	600万円	新規就農支援事業 95万円 労働力軽減効率化支援 7万円 担い手要望支援事業 224万円 合計 326万円
3	担い手確保対策	新規就農者支援	地域農業の担い手育成による農業生産の維持・発展	11件	5件
4	担い手経営体への労働力確保対策	求人、求職者募集・求人掲載申込募集・援農ボランティアの紹介	労働力支援による生産力向上	「あぐりサポート」 求人51・求職51・採用36 「農業ジョブ」 求人20・求職120・採用30 「デイワーク」 求人180・求職220・採用150	「あぐりサポート」 求人48・求職50・採用44 「農業ジョブ」 求人20・求職121・採用31 「デイワーク」 求人383・求職615・採用348
5	生産者の所得増大に向けた対策	新規作物提案・作付拡大「にじのきらめき」など 青パパイヤ・アスパラガス 現在の作付面積拡大	高温対策品種により高品質米、高収量による所得増大 作付拡大による所得増大	「にじのきらめき」など30ha 青パパイヤ1,000本 アスパラガス55a	「にじのきらめき」など65ha 青パパイヤ740本 アスパラガス54a
6	生産トータルコスト低減に向けた取組み	銘柄集約肥料等（高度化成肥料やPB肥料）の取引拡大によるコスト低減	コスト低減効果（1袋あたり100円～500円）	PB・高度化成肥料 41,200袋	PB・高度化成（9月末） 16,531袋
7	直売所の販売力強化	集客力強化	顧客単価／人（1,500円～2,200円）	来店客数 720,000人	来店客数（9月末） 371,758人
8	Web受発注システムの導入	Web受発注システムの導入による肥料・農薬等の受発注業務にかかる事務効率化	業務効率化と生産性向上	上半期はデータ整備に取組み、下半期に当用注文から稼働予定	12月からの本稼働に向けて、データ整備を進めております。



### 3 ククメリスカブリダニ



ククメリスカブリダニは、主にアザミウマの幼虫やコナダニ類を捕食します。体長は約0.4mmで、温暖で湿度の高い地域に生息しています。特にハダニ類の卵を好み、ＪＡ南彩管内のいちご生産者の多くが、アザミウマ類の防除対策として利用しています。

主な商品として、「ククメリスEX」、「メリトップ」などがあげられます。

主要商品一覧

商品名	適用病害虫名	有効成分規格	10aあたりの使用量	メーカー名
スパイカルプラス	ハダニ類	ミヤコカブリダニ 100パック/1袋	1袋	アリストライフサイエンス
スパイカルEX	ハダニ類幼虫	ミヤコカブリダニ 250ml/5,000頭	1本	アリストライフサイエンス
ミヤコバンカー	ハダニ類	ミヤコカブリダニ 100頭/パック	50～300パック	石原バイオサイエンス
スパイデックスバイタル	ハダニ類	チリカブリダニ 100ml/2,000頭	3本	アリストライフサイエンス
チリトップ	ハダニ類	チリカブリダニ 250ml/1,000頭	3本	アグロ カネショウ
ククメリスEX	アザミウマ類 幼虫	ククメリスカブリダニ 1 L /50,000頭	4～6本	アリストライフサイエンス



天敵資材の放飼作業

これらの天敵資材を活用し、生産者は今作も消費者の皆さまへおいしい“いちご”をお届けできるよう、日々栽培管理に取り組んでいます。

ぜひ、甘くておいしいＪＡ南彩地域のいちごをご賞味ください。





## 天敵資材を活用したいちご栽培

1月に入り、いちごのシーズンとなりました。農産物直売所での販売も始まり、菖蒲グリーンセンターでは毎年恒例のいちご狩りがスタートするなど、今年も各地で盛り上がりを見せています。

今回はいちご栽培において育苗期から収穫終了まで使用される、代表的な天敵を活用した害虫防除についてご紹介します。

### 天敵昆虫とは

農業での利用が広まりつつある「天敵昆虫」は、自然界にもともといる生物で、作物に悪影響を及ぼす害虫を捕食し防除を行います。環境に優しく、化学農薬の使用量を軽減できるため、生態系を維持しながら作物を育てることができます。早期に大量に放飼することで、農薬散布の軽減や省力化にもつながる点もメリットです。

### 代表的な天敵昆虫

#### 1 ミヤコカブリダニ



ハダニ類は、体長約0.5mmから1mmで、植物の葉の裏側や花粉に寄生し、植物の成長を妨げる害虫です。ミヤコカブリダニは、ハダニ類やアザミウマの幼虫などを捕食する小型の捕食性天敵ダニで、繁殖力が強く、一度発生すると短期間で大量に増殖します。

主な商品として「スパイカルプラス」、「スパイカルEX」、「ミヤコバンカー」などがあげられます。

#### 2 チリカブリダニ



雌の体長は0.5mm程度。腹部は球形で、体色は橙～赤色、幼虫や若虫も同じ色をしています。ハダニ類（ナミハダニ、カンザワハダニ等）のみ捕食し、25℃では1日に約25個、30℃では約35個のハダニ卵を捕食します。ただし、ハダニが発生していない状況では十分な効果が得られません。

主な商品として「スパイデックスバイタル」、「チリトップ」などがあげられます。

中部地区宮代担当の田崎です。今回は、地域で近年被害が目立つ「ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）」について、その生態と冬期における効果的な防除ポイントを紹介します。

### 生態と被害の特徴

ジャンボタニシは約40年前、食用目的で日本に持ち込まれました。全国で500か所以上の養殖場が設けられましたが、国内消費者の嗜好に合わず商品価値を失い、養殖放棄により各地で野生化しました。現在では農業用水路や水田で定着し、水稻の重要害虫となっています。とくに田植え後2～3週間の柔らかい苗を好んで摂食するため、この時期の被害が最も深刻です。圃場によっては苗がほぼ全滅する例もあります。



稲に産卵された  
ジャンボタニシの卵

### ■ 生態のポイント

- ・成貝のサイズは2～7cm程度。産卵は水面より上の稲株や水路壁などに行われ、濃いピンク色の卵塊を形成する。
- ・卵塊は1個あたり200～300個程度。大きさは長さ約3cm、幅約1.5cm程度が多く見られる。
- ・卵は水中ではふ化できないため、卵塊を水中に落とすことで駆除が可能。  
※ただし、ふ化直前の黒～白色の卵は水中でもふ化するため、押し潰すなどの確実な除去が必要。
- ・卵には 神経毒を含む成分や寄生虫が確認されているため、素手で触らないことが鉄則。皮膚から体内に入った場合、頭痛・発熱・嘔吐などの症状を引き起こす恐れがある。

### ■ 効果的な冬期防除の実践法

- ・厳寒期（1～2月）にロータリー耕うんを実施し、貝を物理的に破碎するとともに寒風にさらすことで死滅効果が高まる。破碎効果を高めるために、「田面が固い状態」＋「トラクター低速走行」＋「ロータリー高速回転」が最も効果的。
- ・越冬深度は浅いため、深耕は厳禁。深く耕すと貝を土中に埋め込み逆効果となるため、  
➡ 浅め（約6cm）の耕うんを心がける。
- ・泥に付着して他圃場へ拡散する事例が多いため、発生圃場で作業した機械は、必ず泥を丁寧に洗浄する。
- ・食害能力の高い大型の貝ほど破碎されやすく、一度の耕うんで約7割の個体を破碎できるとされるが、耕うん回数を増やすことでさらなる防除効果が期待できる。

万が一、水田にジャンボタニシの発生を確認した際は、農薬での駆除方法もありますので、至急TAC又は営農経済センターまでご相談ください。



ジャンボタニシ

## 今月のTAC活動紹介

### — 春肥料・農薬・資材フォローで生育管理をサポート —

冬は、水稻や畑作の生育に向けた大切な準備期です。TACは現在、各生産者を訪問し、春肥料・農薬・資材の注文や手配作業の確認、技術相談などのフォローを行っています。現場の声を受けとめ、営農に寄り添うTACの日常をご紹介します。

#### 現地訪問での聞き取り

TACは、播種や定植の時期、雑草対策、施肥設計など、生産者の「いま」気になっている点を丁寧に聞き取り、営農の不安解消につなげています。

また、前年の肥料・農薬の申込み状況などを踏まえ、今年の生産計画に応じた施肥設計や作業時期など、実践的なアドバイスも行っています。

#### 春肥・農薬・資材の最終チェック

この時期は、肥料や農薬、必要な資材の準備が本格化します。TACは、生産者と一緒に栽培に必要な肥料・農薬・資材などの確認を行い、在庫状況を踏まえた調整を実施しています。また、農薬については、雑草や病害虫の発生傾向を考慮した散布適期の案内や、水稻の除草体系の提案などのサポートを提供しています。

地域によって、圃場条件や生産の特徴はさまざまです。水稻では、田植え前の管理作業や高温対策、雑草対策などの相談が多く寄せられ、畑作では、作付け時期に合わせた品種の選定や連作障害の回避なするための作付け体系など、課題が異なります。TACは、それぞれの地域特性に合わせ、現場ならではの視点で支援を行っています。

「春は、1年の営農の基盤をつくる重要な季節です。生産者の皆さまが安心して作付けを迎えられるよう、ていねいな訪問活動を続けていきます。」



肥料・農薬の申込状況の確認



来年度に向けた資材の打合せ



旬の  
いちごを  
楽しもう!!

# いちご狩り&Instagram プレゼントキャンペーン開催

## いちごの品種紹介

### べにたま

#### 特徴

大粒で糖度が高い  
さわやかな酸味  
芳醇な香り  
ルビーのような赤色

収穫時期 11月下旬～



### とちおとめ

#### 特徴

香りが高い  
果肉がしっかり  
してジューシー  
糖度は高く 程よい酸味  
鮮やかな赤色

収穫時期 11月下旬～



### あまりん

#### 特徴

比較的大粒  
果肉しっかり  
甘味が強く 酸味は  
おだやか  
鮮やかな赤色

収穫時期 12月～



### やよいひめ

#### 特徴

大粒で果肉がしっかりし  
ているため日持ちが良い  
糖度は高く 酸味はまるやか  
明るい赤色  
熟してもそれほど濃くならない

収穫時期 12月～



### かおりん

#### 特徴

やや小さめ  
果肉しっかり  
香りがよく 甘味・酸味  
ともに濃厚  
鮮やかな赤色

収穫時期 12月後半～



●マイクロバスで行く農家さんのいちご狩りでは、あまりん（一部べにたま・やよいひめ有り）が食べられます。 ※土、日、祝日中心

●菖蒲グリーンセンター高設いちご園では、あまりん・べにたま・かおりん・やよいひめ・とちおとめが食べられます。 ※平日中心

## いちごの豆知識

### おいしいいちごの 選び方

- ▶ヘタの近くまでムラなく赤い
- ▶ハリとツヤがある
- ▶つぶつぶが程よく赤い
- ▶ヘタの緑が濃く、反り返っているもの
- ➡ヘタが元気なものほど、新鮮な証拠!!

**いちごは  
鮮度が命です!  
早めにお召し  
上がりください**

### 保存方法

- 【そのまま食べる場合】
- ▶購入後はすぐに冷蔵庫へ
- ▶水洗いする場合は、水分をよく拭き取ってから保存
- 【冷凍保存する場合】
- ▶洗って、水分をよくふき取ってジップロック等に入れて冷凍保存
- ➡ジャムやスムージーにすぐ使えます



# いちご狩り

期 間

1月6日(火)～5月中旬

受付時間

平日・土日祝 9:30～15:00

内容は予告なく変更することがございます。

## 料 金

菖蒲グリーンセンター  
いちご農家  
制限時間30分

1月6日(火)～  
4月5日(日)まで

4月6日(月)～  
5月6日(水)まで

5月7日(木)～  
閉園まで

一般(小学生～大人)

3,000円

2,500円

1,800円

幼児(3歳～未就学)

2,200円

1,800円

1,200円

3歳未満は無料

※いちごがなくなり次第終了となりますので、予めご了承ください。※いちごの生育状況により食べられない品種がございます。

お問合せ先 菖蒲グリーンセンター TEL 0480-85-4444 9:00～17:00

## JA南彩Instagram プレゼントキャンペーン開催!

「ニッポンエール 埼玉県産  
あまりん苺グミ2個セット」を  
抽選で20名様にプレゼント!!  
奮ってご参加ください!



### 応募期間

令和8年

1月1日(木)～31日(土)

詳しくはInstagramの投稿  
をご覧ください。

### 応募方法

- ① JA南彩Instagram (@ja\_nansai.731) をフォロー
- ② プレゼントキャンペーン投稿をいいね♥
- ③ コメント&ストーリーシェアで当選率UP↑





# 相談会のご案内

JAでは相談会を開催しています。お気軽にご利用ください。

## 営農相談

毎月直売所で病害虫防除、雑草防除の営農相談コーナーを設けています。

2月4日(水)

岩槻農産物直売所  
(あさつゆの里)  
9:30~11:00  
048-798-8311

2月12日(木)

久喜農産物直売所  
(久喜キラリ直売館)  
9:30~11:00  
0480-25-1183

2月18日(水)

菖蒲グリーンセンター  
9:30~11:00  
0480-85-4444

## 税務相談会

税務相談会は事前予約制となっておりますので、それぞれの開催日**1週間前**までにお電話でのご予約をお願いいたします。(ご予約いただけない場合は受付できません) ご予約がない場合は開催中止となりますのでご注意ください。

2月6日(金)	2月3日(火)	2月13日(金)	2月4日(水)	2月25日(水)	2月25日(水)	2月4日(水)
3月17日(火)	3月3日(火)	3月24日(火)	3月4日(水)	3月25日(水)	3月25日(水)	3月4日(水)
岩槻城南支店	春日部支店	蓮田支店	宮代支店	白岡大山支店	久喜江面支店	菖蒲南支店
9:30~12:00	10:00~15:00	9:30~12:00	9:30~12:00	13:30~15:30	9:30~12:00	13:30~15:30
048-798-3345	048-736-5501	048-768-2190	0480-32-0102	0480-92-2315	0480-21-1101	0480-85-1022

※都合により時間が変更になる場合があります。

JAグループさいたま  
アグリマシンフェア

# 第64回農業機械大展示会

令和8年 1/30(金) 9:00~15:00 1/31(土) 9:00~14:00

**会場 むさしの村 特設会場**

**会場のご案内**

**出展内容**

- 水田、畑作、園芸用各種農業機械
- 中古農業機械コーナー

主催/埼玉県JA・埼玉県JA農機協議会・全国農業協同組合連合会埼玉県本部  
協賛/全農埼玉県本部取扱メーカー各社・埼玉県農業協同組合中央会  
埼玉県信用農業協同組合連合会・全国共済農業協同組合連合会 埼玉県本部  
埼玉県農業共済組合

**ご来場いただく方へのお願い**

- 会場は禁煙とさせていただきます。
- 発熱の症状がある方のご来場は、ご遠慮ください。

**住所** 埼玉県加須市志多見1700-1  
**TEL** 0480-61-4126(代)

**お問い合わせ お近くのJA 又は JA全農さいたま農機課 TEL 048-559-0315**

南彩インフォメーション

information



			3				1	
9				7		8		
5	3				4			
	8	2						
		4	9		3	6		
						2	5	
			5				9	4
		7		3				1
	2				1			

## 数独

NumberPlace 出題 ニコリ

二重枠に入った数字の合計はいくつ？

### ルール

- ① 空いているマスに、1 から 9 までの数字のどれかを入れます。
- ② タテ列（9 列）、ヨコ列（9 列）、太線で囲まれた 3×3 のブロック（それぞれ 9 マスあるブロックが 9 つ）のいずれにも 1 から 9 までの数字が 1 つずつ入ります。

### 応募方法

正解者の中から抽選で 10 名さまに 1,000 円分の図書カードをプレゼント。

【締切日】 1 月末日 発表は 3 月号です。

## 11月号の答え

答え 9

当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



6	2	9	1	3	5	4	7	8
8	7	4	9	6	2	5	1	3
5	3	1	8	4	7	6	9	2
7	1	8	2	9	4	3	6	5
2	5	3	7	1	6	8	4	9
9	4	6	5	8	3	7	2	1
3	9	5	4	7	1	2	8	6
4	8	2	6	5	9	1	3	7
1	6	7	3	2	8	9	5	4

11月号応募総数60通

85 〒344-0064

JA 南彩

ふれあい広報課

春日部市南  
二丁目4番30号

● 郵便番号・住所  
● 氏名・年齢  
● JA 南彩と本誌への  
ご意見・ご希望・短歌・  
イラストなど

※応募ハガキに基づく個人情報は抽選、景品の発送、意見等の掲載に使用させていただきます。あらかじめご了承ください。  
※お1人さま1枚までのご応募とさせていただきます。

## 【理事会だより】

令和7年11月28日、定例理事会が行われ、次の事項について審議され、全議案原案通り可決、承認されました。

- (1) 令和7年10月末財務状況について
- (2) 令和7年度上半期監事監査の指摘事項に対する改善状況について
- (3) 令和7年度上半期ディスクロージャー誌の発行について
- (4) 自動車管理規程の一部変更について
- (5) 年末賞与の支給について



## 主要事業の概要

—— 令和7年11月末現在 ——

出資金につきましては、28億5,867万円です。

	令和7年11月末	令和7年3月末	前年度末増減
正組合員数	9,053人	8,923人	130人
准組合員数	19,241人	18,991人	250人
組合員数合計	28,294人	27,914人	380人

	令和7年11月末	令和6年11月末	前年度同月対比
貯金高	2,757億7,798万円	2,765億4,671万円	99.7%
貸出金	732億5,816万円	704億1,398万円	104.0%
共済保有高	5,774億4,228万円	5,880億6,286万円	98.1%
販売高	28億4,820万円	20億7,360万円	137.3%
購買品Ⅰ供給高	16億3,508万円	16億8,805万円	96.8%
購買品Ⅱ供給高（各直売所）	10億1,507万円	8億9,469万円	113.4%

※ 貸出金については、貸付留保金を控除しています。

### 編集後記

あけましておめでとうございます！新しい1年が始まりましたね。  
1月号では、いちご特集を掲載しています。今の時期はいちごがまさに旬ですね!! 実は私の推しもいちごが大好きで、いちごの商品を見つけるとつい買ってしまいます…笑

JA南彩の菖蒲グリーンセンターでは、いちご狩りが楽しめます♪  
機会があれば、ぜひ足を運んでみてくださいね！ 編集担当 6.9

集まれ!

# 「第3期新規いちご栽培塾」

## 受講生募集!

JA南彩管内の特産である苺生産をさらに発展させるために、新たに苺栽培を志す方及び苺栽培を学びたい方を対象に、実技を中心とした講習を行います。

### 開催時間

14:00～16:00

### 開催場所

久喜市菖蒲町小林地区の苺園(土耕)及び菖蒲グリーンセンター養液ハウス(水耕)

### 対象者

JA南彩管内に在住の組合員(組合員に加入する意思のある方)で、新たに苺栽培を志す方、または栽培を学びたい、または興味のある方



### 講座開催日

令和8年4月～令和9年3月

(毎月第2週・第4週水曜日)  
(講習会は年間23回開催)

### 人員

15～20名程度(応募多数の場合は調整させていただきます)

### 受講内容

苺栽培全般(育苗～収穫まで)

### 応募締め切り日

令和8年2月20日(金)

### 年間受講費

5,000円

### 申込み方法

希望受講者の氏名、住所、電話番号、農業経験の有無(有の場合は作物名や面積)、希望の動機を記入し、「新規いちご栽培塾希望」と明記して、下記あてに「ハガキ」又は「FAX」でお気軽に申込みください。

### 送付先

#### 【ハガキ申込み先】

〒344-0064 春日部市南2丁目4番30号  
JA南彩 営農部営農支援課  
「新規いちご栽培塾」担当宛

#### 【FAX申込み先】

JA南彩 営農部営農支援課  
FAX 048-720-8095

お問合せ先 JA南彩 営農部営農支援課 担当 野口 TEL 048-720-8092

## お知らせ

ご葬儀の事前相談・ご連絡は

JA葬祭総合センター



0120-145-731 (24時間・365日対応)



▲こちらの問合せフォームからメールでの相談も可能です。

番号案内サービス(104)へお問合せの際は、必ず「JA南彩の葬儀」とお伝えください。

なんさい No. 356

令和8年1月1日発行

発行責任者/南彩農業協同組合

代表理事組合長 菊池 義雄

編集/企画管理部ふれあい広報課

〒344-0064 埼玉県春日部市南二丁目4番30号

TEL 048 (720) 8051 FAX 048 (720) 8052



2100

古紙配合率100%再生紙を使用しています